

マクロ経済動向分析8・9月

景気減速傾向強まるも
政府は構造改革断行、欧米との対立深まる

慶應義塾大学
駒形哲哉研究会

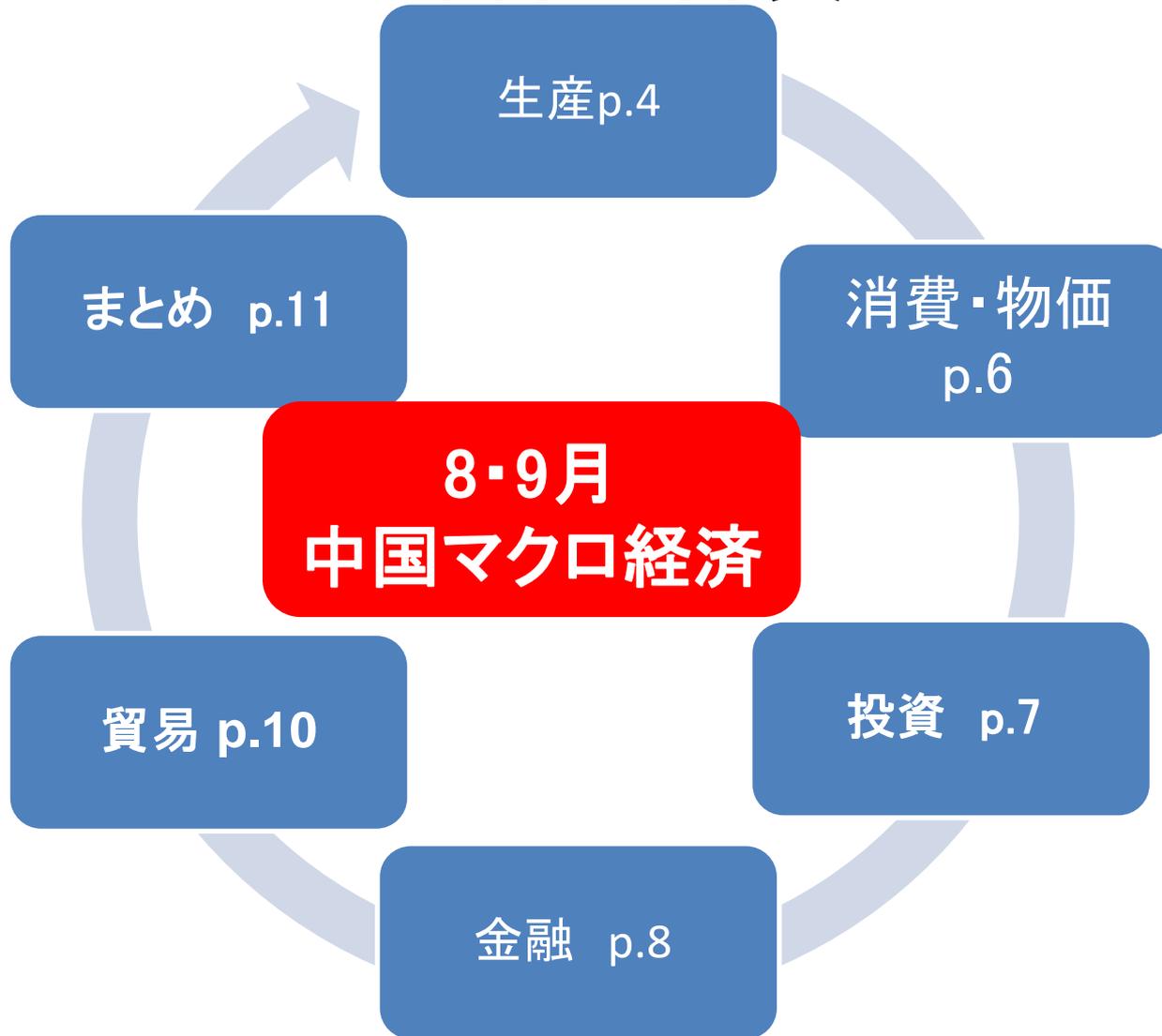
1. 8・9月のポイント

8月のPMIは、製造業と非製造業を合わせた総合産出指数で48.9となった。好不調の境目である50を下回るのは、新型コロナウイルスが直撃した2020年2月以来であり、景気の不振は強まっている。

環太平洋経済連携協定(TPP)への加盟申請や、地域的な包括的経済連携(RCEP)協定を2022年1月初旬に発効させる目標に合意するなど、アジア地域を重視した政策がとられた。

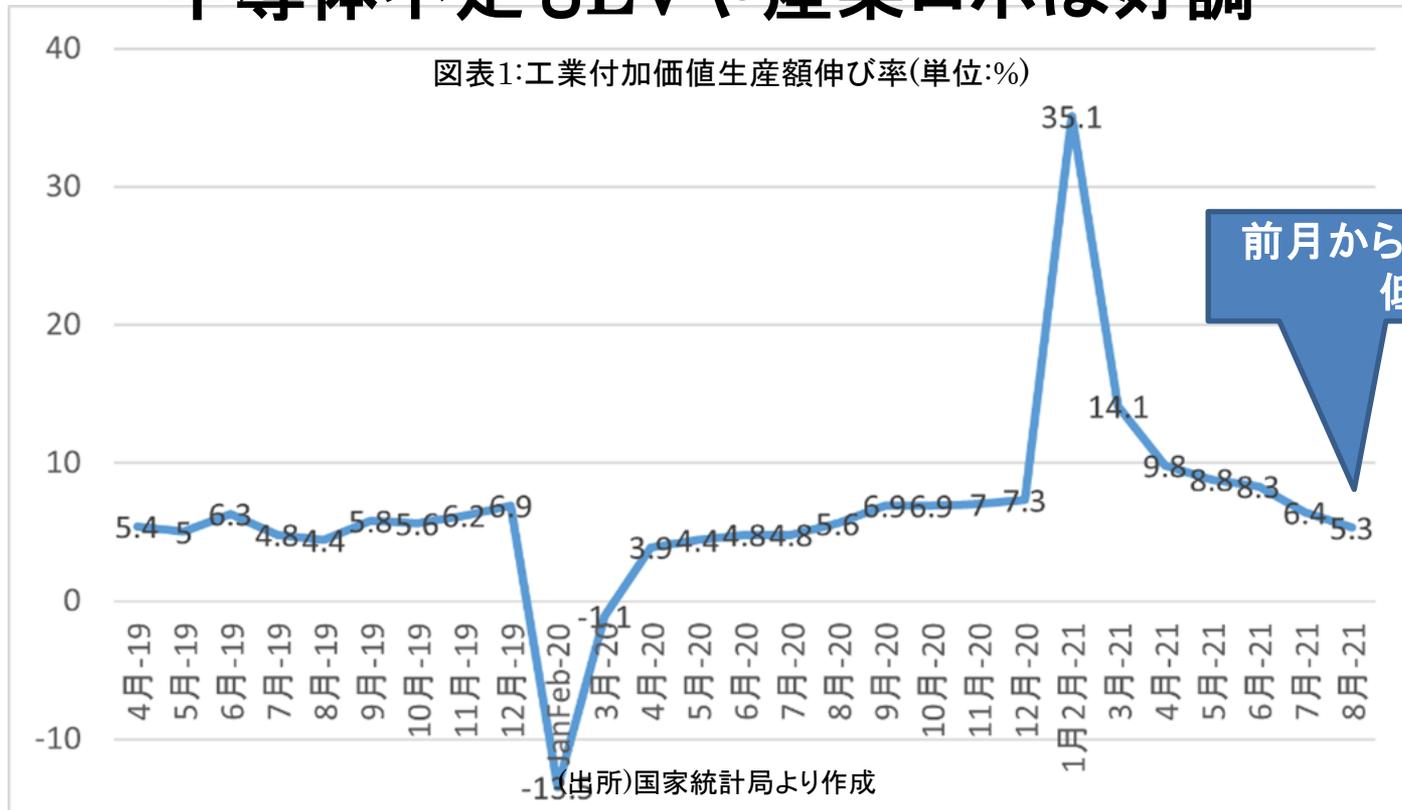
中国不動産大手・恒大集団の不良債権問題が深刻化している。33.5兆円に上るとされる負債処理の見通しや中国政府の救済をめぐる世界が注目している。

2. 今月の目次



3.生産

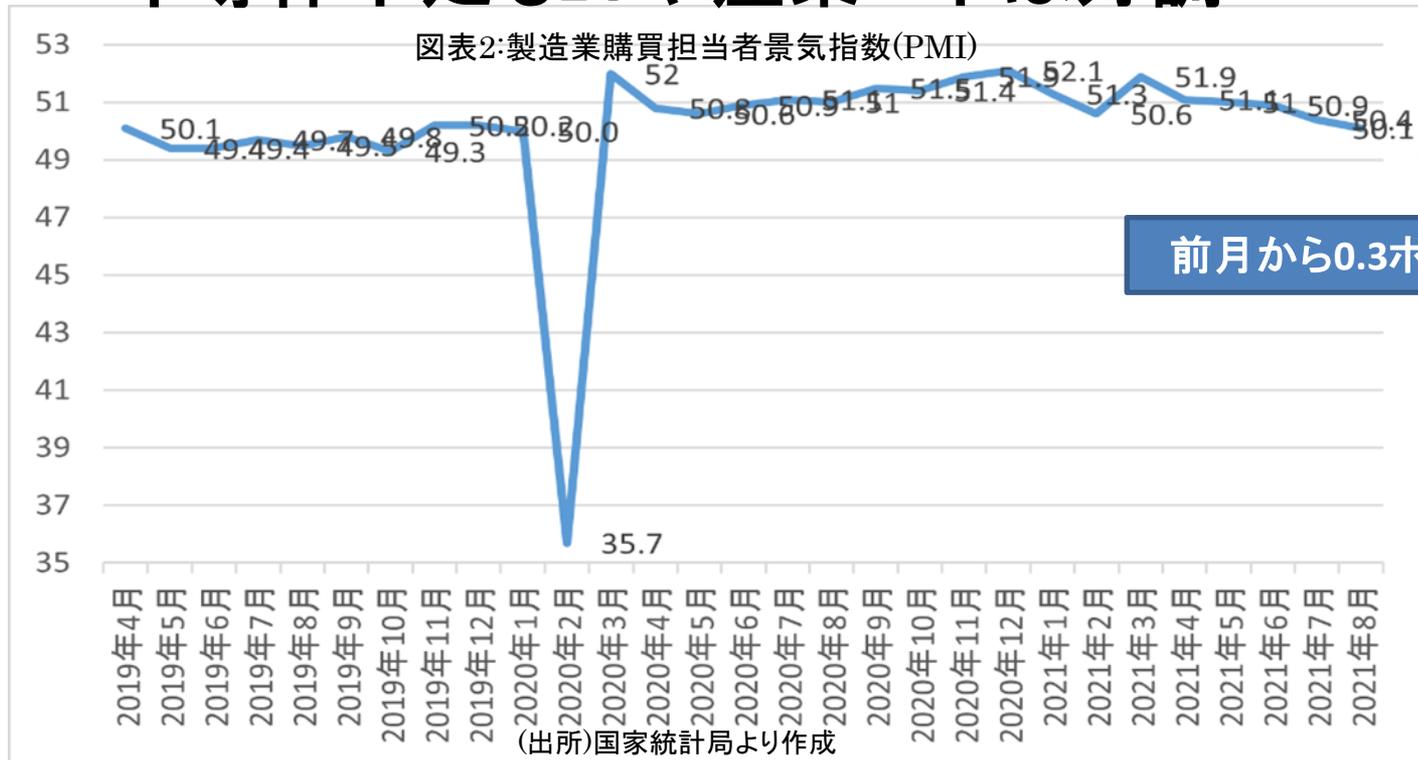
新型コロナ再拡大や資源高が生産に悪影響 半導体不足もEVや産業ロボは好調



7月の工業付加価値生産額は6.4%増、8月は5.3%増も、6カ月連続で鈍化。半導体不足や資源高、新型コロナ再拡大によって港湾検査が厳しくなっていることが影響しているとみられる。一方、産業ロボットやEVの生産は好調。

3.生産

新型コロナ再拡大や資源高が生産に悪影響 半導体不足もEVや産業ロボは好調

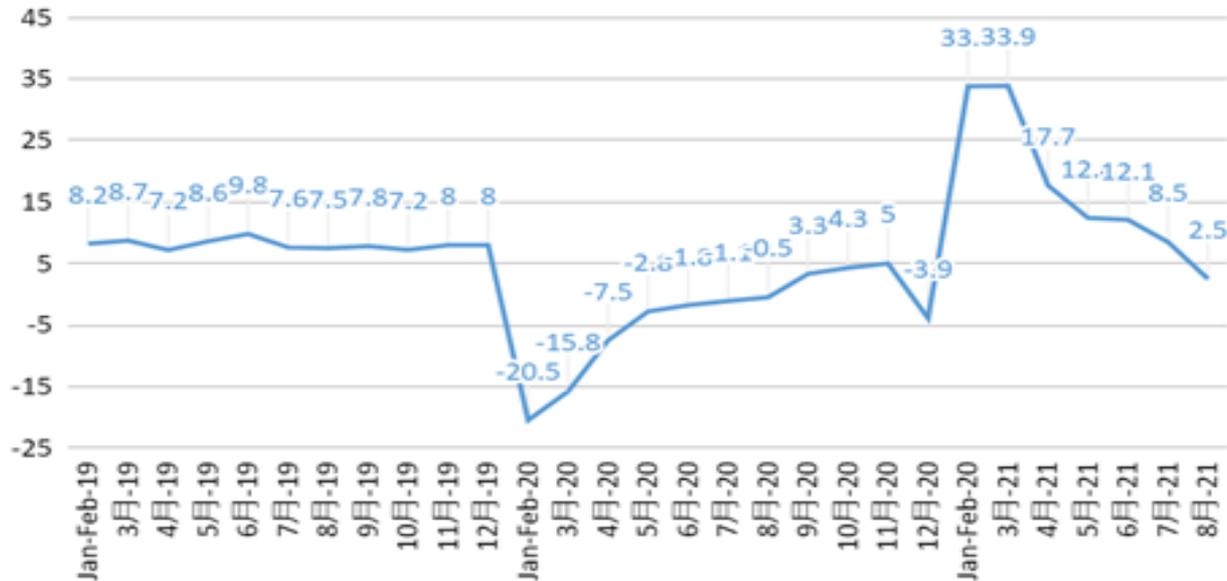


7月のPMIは50.4、8月は50.1となり、いずれも好不調の境目である50を上回るものの、5カ月連続で悪化。製造業と非製造業を合わせた総合産出指数では8月、48.9となり、2020年2月以来初めて50を下回った。

4.物価・消費

消費回復の鈍化が鮮明な中、ネット消費が勢いを増す

図表3: 社会消費品小売総額伸び率(単位:%)



前月から6ポイント低下

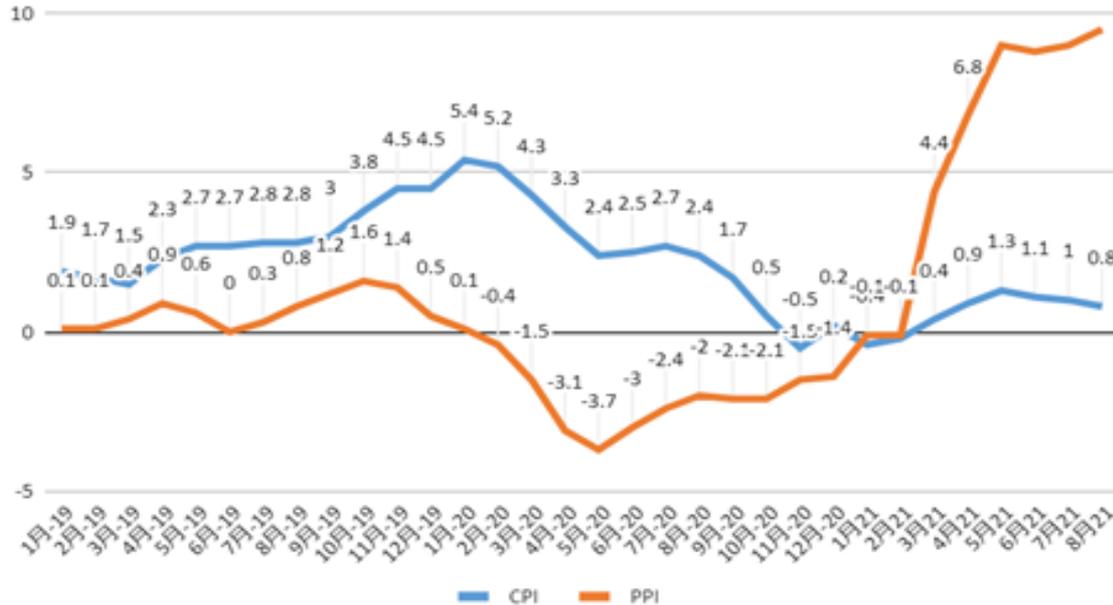
(出所)国家統計局より作成

7月の社会消費小売総額は3兆4925億元で前年同月比8.5%増、8月は3兆4394億元で前年同月比2.5%増と去年の反動が落ち着きを見せる結果になった。

4.物価・消費

消費回復の鈍化が鮮明な中、ネット消費が勢いを増す

図表4: 消費者物価指数(CPI)及び生産者物価指数(PPI)(単位:%)



前月から0.5ポイント上昇

前月から0.2ポイント低下

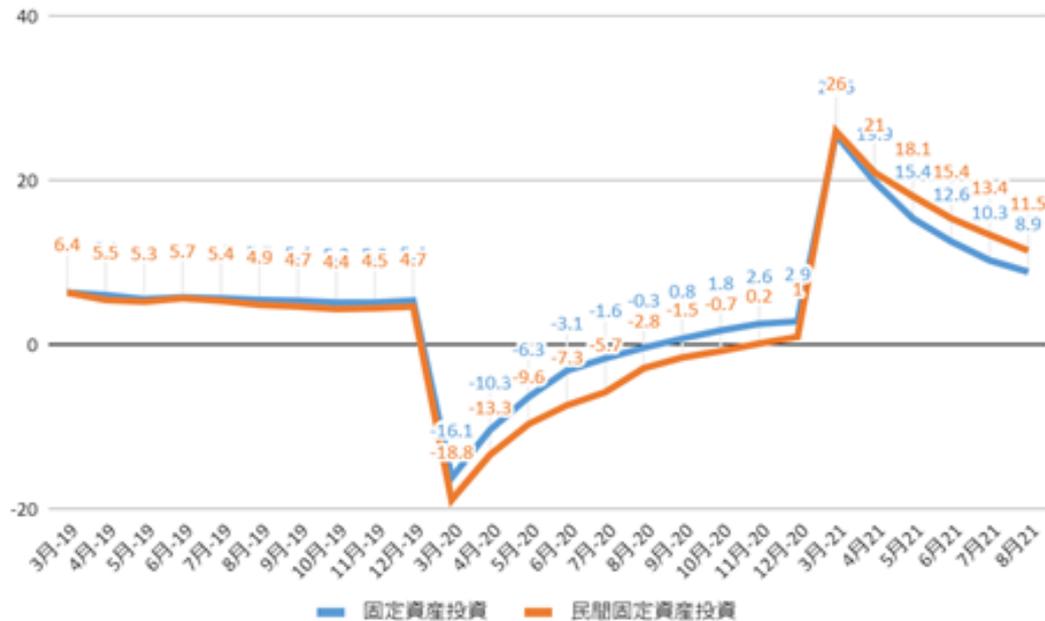
(出所)国家統計局より作成

7月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比1.0%増で8月は前年同月比0.8%増となった。7月の卸売物価指数(PPI)は前年同月比9.0%増で8月は前年同月比9.5%増となった。

5.投資

不動産投資の勢いが陰る中国、環境株式指数創設の方針

図表5:固定資産投資及び民間固定資産投資伸び率(単位:%)



(出所)国家统计局より作成

固定資産投資:前年同期
から11.5ポイント増加

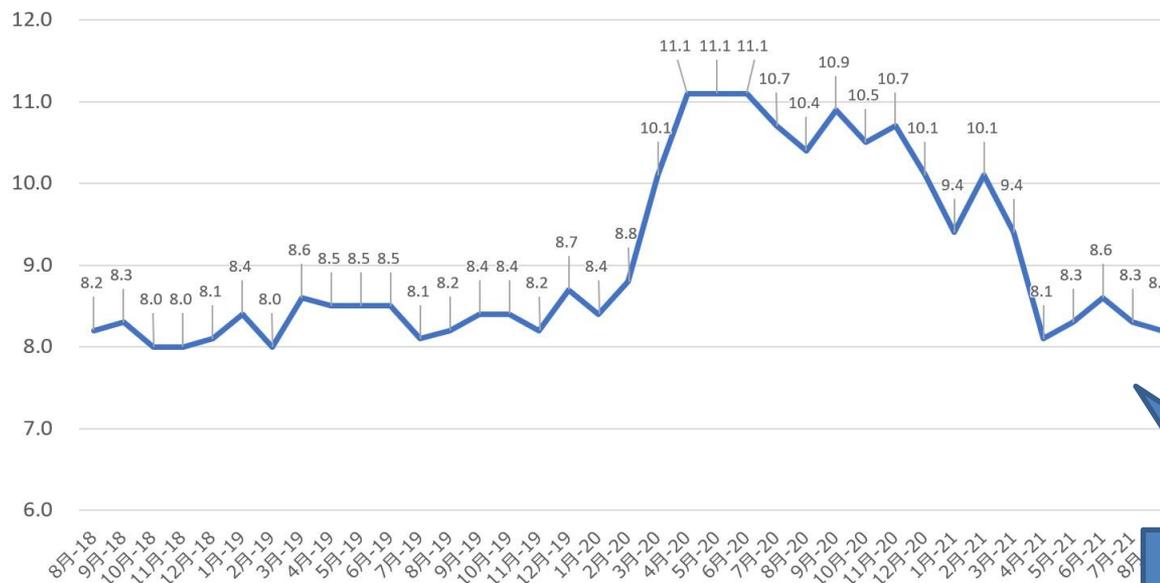
民間固定資産投資:前年同期
から8.9ポイント増加

2021年1-8月の固定資産投資は34兆6913億元で前年同期比8.9%増加した。

6.金融・財政

規制強化の動き加速で景気停滞感露わに

図表6:通貨供給量(M2)の伸び率(単位:%)



前月から0.1ポイント下落

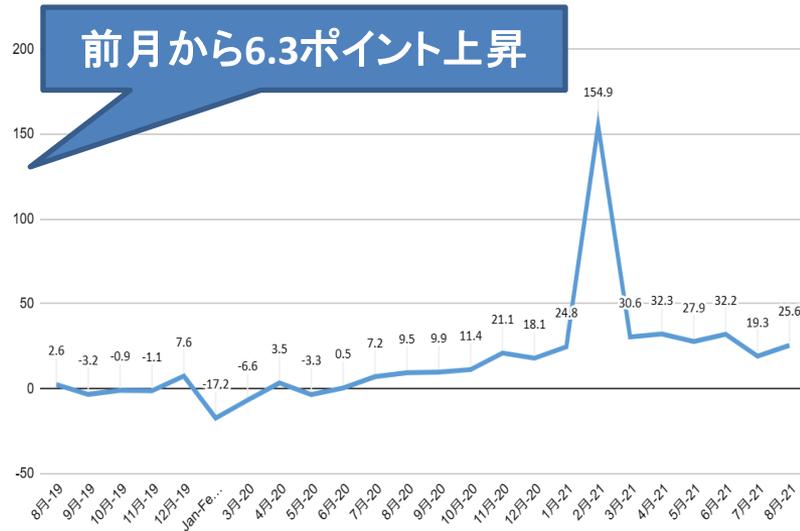
(出所)国家統計局より作成

2021年7月のマネーサプライ(M1)は、前年同月比4.9%増加の62兆400億元で、8月は前年同月比4.2%増加し62兆6700億元であった。

7.貿易

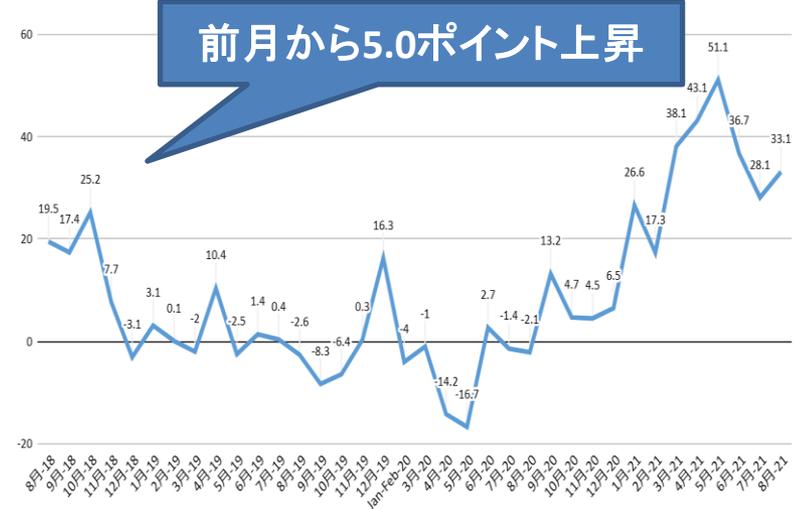
資源高による輸入増、製品単価上昇により輸出堅調

図表7: 輸出の伸び推移(単位:%)



(出所)海関総署より作成

図表8: 輸入の伸び推移(単位:%)



(出所)海関総署より作成

7月の輸出入総額は5087億ドルとなり、前年同月比23.1%増となった。8月の輸出入総額は5303億ドルとなり、前年同月比28.8%増となった。

8・9月のまとめ

生産

- ・ 8月の工業生産は前年同月比5.3%増。8月の製造業PMIは50.1で5カ月連続の悪化だった。新型コロナの再拡大による供給網の混乱や半導体不足の影響、資源高が生産に悪影響をもたらしている。

物価・消費

- ・ 8月は新車販売台数が前年同月比17.8%減の179万9000台、社会消費品小売は前年同月比 2.5%増の3兆4394億元と前年の反動は落ち着きを見せ、伸びの鈍化が鮮明になりつつある。

投資

- ・ 不動産開発投資の勢いが弱まる中、中国共産党政権は「環境株式指数」を創設する方針を示した。人権問題やハイテク分野で対立する米国と対話のパイプを安定させたい思惑があるとみられる。

金融

- ・ 中国人民銀行が発表した2021年8月の最優遇貸出金利は1年物が3.85%であり、1年4カ月続けての据え置きとなった。原材料高で収益が圧迫されている中小零細企業の資金繰り支援策などの効果を見極める方針とみられる。

貿易

- ・ 輸出・輸入の伸び率はともに7月の落ち込みからは少々回復する形となった。輸出はマスクなどの織物が前の期からさらに減った。輸入は全世界的な資源価格の上昇の影響を大きく受けた。